

教育委員会定例会会議録

開催日時	令和7年2月27日（木）午前8時45分
開催場所	リパリス1階会議室
出席委員等	委 員 鳴海 良廣 委 員 横井 きよみ
	委 員 金永 俊一 委 員 上西 幸子
	教育長 恵利 修二
欠席委員	なし
上記以外の出席者	教育課長 谷岡潔、専門監 本田敬、課長補佐 広瀬豊、 国スポ推進係長 黒木陽、 学校教育・給食センター係長 稲田宏美
・教育委員会定例会の開催	
1 開会のことば	
谷岡課長	
・ただ今から令和7年2月木城町教育委員会定例会を開会します。	
2 教育長あいさつ	
恵利教育長	
・おはようございます。この季節の風情を表す言葉に三寒四温という言葉がございますけれども、極端に気温が今後上昇するという情報をお聞きしていますけれども、この前は非常に厳しい寒さ、昔は当たり前の寒さだったんですけど、私も含め皆さんもですね、体調を崩されないように、春を感じながらもお気をつけいただければと思います。またその先はまた寒さがやってくるようでもありますけれども、周りを見ますと、梅の花が満開でございます、春の到来を示しております。季節は数日で3月を迎え、3月4、5日は県立一般入試、16日が卒業式、18日が合格発表ということで、現在45名の子供たちが私立も含めて合格をされているということで残りの12名が一般入試を迎え受けるようでもあります。全員が素晴らしい15の春を迎えられることを願っています。そして桜の季節を迎えますけれども、460名を超す子供たちが、有終の美が飾られますことを祈念しまして挨拶といたします。最後になりますけれども、3月たびたび出会をこれから説明申し上げますけれども、行事や会議が続きます。お忙しい中ですが、どうぞよろしくお願いいたします。	
3 議長選出	
[恵利教育長に議長をお願いしました。]	
4 2月期定例会会議録署名委員の指名（恵利教育長・上西委員）	
5 議題及び議事	
(1) 1月期定例会会議録の承認について（恵利教育長・横井委員）	
[事前に送付していた1月期定例会の会議録について承認され、委員において署名]	
(2) 事務局報告事項	
①教育長報告	
・[2月行事報告と合わせて報告。]	
②行事報告及び行事予定	

2月行事報告)

恵利教育長

- ・2月1日(土) 木城町子どもスキー体験事業(2/1~2/2) 出発式
 - ・2月5日(水) 令和6年度木城町立義務教育学校教頭研修会
 - ・2月6日(木) 文化財保存調査推進会議
 - ・2月7日(金) 木城町郷土の先輩講演会(金田誠一郎氏)
 - ・2月8日(土) NTTソフトテニス部「ふれあいソフトテニス教室」
高鍋神楽六社連合大神事文化庁調査官現地調査
 - ・2月9日(日) 職員採用試験二次試験
 - ・2月13日(木) 第2回木城町地域学校協働本部推進協議会
第4回自治公民館連絡協議会役員会
 - ・2月14日(金) みどりの会
令和7年度 県教育委員会新規・改善事業等説明会
宮崎県町村教育長会第1回理事会
 - ・2月17日(月) 第2回木城町議会「臨時会」
3月補正予算町長ヒアリング
宮崎県建築士協会会長来庁
人事異動 事前説明
 - ・2月18日(火) 佐賀県伊万里市行政視察来訪
 - ・2月19日(水) 木城町教育委員会教育功労者表彰式及び教育研究助成事業研究報告会
 - ・2月20日(木) 第3回木城町文化財保存調査委員会
学校運営協議会
 - ・2月21日(金) 国スポ実行委員会「第1回専門委員会」
定例課長会
第3回事務改善委員会
教科書採択関係 会計監査及び引継
 - ・2月25日(火) 第3回自治公民館長会
 - ・2月26日(水) みどりの教室(家庭教育事業)
 - ・2月27日(木) 木城町教育委員会2月定例会
第3回社会教育委員会議
部活動の地域連携・移行に係る会議
第3回生涯学習推進協議会
 - ・2月28日(金) 第2回西都・児湯地区社会教育主管課長・担当者会
- 以上でございます。

恵利教育長

- ・引き続き、3月の行事予定を課長から説明します。

3月行事予定)

谷岡課長

- ・3月3日(月) 市町村駅伝競走大会実行委員会
- ・3月4日(火) 人事異動に係る異動内申書の提出に関する説明等(押印)
学校給食調理場運営委員会
仮) 木城町教育委員会3月臨時会
- ・3月5日(水) 青少年育成町民会議 役員会
- ・3月6日(木) みどりの会
- ・3月7日(金) 令和7年第3回木城町議会定例会 ※3/18まで予定

- ・3月10日（月）木城町女性団体連絡協議会総会
- ・3月12日（水）令和6年度みどりの杜木城学園心の教育人材育成事業
- ・3月16日（日）みどりの杜木城学園 第2回卒業式（受付8:50まで）
- ・3月18日（火）第5回初期研修校外研修
- ・3月20日（木）令和6年度木城町ウォーキングコースマップお披露目会・ウォーキング大会
- ・3月21日（金）福寿大学・中央婦人学級合同閉級式
西都児湯教育長会意見交換会
- ・3月22日（土）めばえ保育園卒園
- ・3月26日（水）みどりの杜木城学園 修了日
- ・3月27日（木）仮）木城町教育委員会3月定例会
仮）第3回木城町総合教育会議
管理職（教職員）異動辞令交付式
- ・3月28日（金）令和6年度転出等教職員離任式
- ・3月29日（土）木城町地域婦人連絡協議会総会

3月行事予定については以上です。4月行事予定は参考としてください。例年でありませんが4月1日、木城町教育委員会4月臨時会を午後3時から行いたいと考えております。その後、転入教職員との対面式という流れで、計画をしております。また8日火曜日が始業式、11日金曜日が第3回の入学式ということで、教育長からもありましたが3月4月と行事、出会を依頼することが多くなりますので、どうぞよろしく願いいたします。行事予定については以上です。

恵利教育長

- ・補足ですが、3月12日心の教育人材育成事業は、講演会は10時30分ですね。訂正をお願いいたします。もしよろしければ体育館の方で、そのあとにテニスコート、外構、これで第三期までの工事が全部完了しました。体育館の中で、簡単な式典を行います。2月報告、3月・4月行事予定でした。何か質問があればお受けいたします。

鳴海委員

- ・いわゆる竣工式というような感じですね。

恵利教育長

- ・オープニングセレモニーとしていますが、イメージとしては、3年前ぐらいやりましたよね。あそこまで大々的にすると大変なので、この体育館で講演会が終わった後にでき上がりの映像を見て、完成しましたよという画像を見てもらう。皆さん出てきてもらって、主な方々にテープカットをしていただきその前後ご挨拶をというふうに考えております。お出でいただければと思います。

鳴海委員

- ・卒業式は、その前に、アルケミストが来て披露するのが8時ごろからですか。

本田専門監

- ・卒業生と在校生とのお別れの会を8時35分から中庭で行います。

鳴海委員

- ・在校生とのお別れの会の中に来るわけですね。それは時間的にはほんのわずかですね。

本田専門監

- ・本当10分ぐらいです。お祝いということで披露していただこうと思っています。

恵利教育長

- ・アルケミストも卒業式に参列していただきます。

金永委員

- ・3月22日にめばえ保育園の卒園式があるようですが、卒園生は何人ぐらいになるんで

すか。

横井委員

・14名だったと思います。

金永委員

・木城学園の新入生は。

稲田係長

・39名です。

金永委員

・いろんなところから集まって39名ですね。それから、2月14日に県の方からの説明会があったみたいですけどなんか新規事業とか改善事業ということで報告がありました。が、内容はどんな内容だったんでしょうか。

本田専門監

・説明会に行って参りました。その中で新規事業3件がありました。紹介しますと、1つが義務教育課から「科学で切り開く未来宮崎人材輩出事業」、事業の内容は、宮崎の未来を拓く次世代人材輩出ということで、コンクール等を通して選ばれた児童生徒を対象に、派遣研修や海外の大学や企業の見学等の研修が用意されているようです。2点目が、こちらも義務教育課から、「学びに向かう力を育むAI教材活用事業」というのがありました。こちらは、対象としては5年生、8年生なんですけども、内容は、これまでよく单元末にテストを紙でしていたと思うんですけども、これをパソコン上で行えるようにするといったものを導入しようという内容でございます。メリットとしては、取り組んですぐに採点ができるということ。また、自分のつまずきに合わせそれを補うような教材が提供されるというものです。詳しくはこれからなんですけれども、県内すべての小中を対象にした、こういったAI教材導入は全国で初ということでございます。3点目が、人権同和教育課から子供の居場所づくり支援モデル事業というものが説明されました。これは学校に通うのがなかなか困難な児童生徒の多様な居場所づくりの内容です。家からなかなか出ることが難しいお子さんたちには、遠隔授業とか、メタバースとって見たり聞いたりできるような環境づくりを。家庭から出ることはできるんですけども、なかなか学校へ登校が難しいという子たちには、民間団体とか、市町村の教育支援センターがあります。また登校はできるけども教室へはなかなかという場合には、うちのように校内の教育支援センターの施設等こういった取組を充実していきましようという取り組みでした。主なものは3つでした。

金永委員

・どうもありがとうございました。今日、生涯学習推進協議会があるみたいですけども、この出席者はどういう方になるんですか。

森係長

・生涯学習推進協議会は、社会教育関係団体の方、代表者の方を中心に、委員になっていただいて、協議会を開いております。社会教育委員さん、文化協会さん、女性団体の地域婦人連絡協議会、そういった方々を中心にですね、協議会を開いております。

金永委員

・ちなみに内容は。

森係長

・主な事業として「生涯学習の集い」を秋に行うんですけど、あとそれに伴う作品展示についてのご意見を伺ったり、あと生涯学習関連で、2月に1回「広報きじょう」で、生涯学習自治公民館関連の記事を載せたりしてますんで、そういったものの内容についての協議をいただくというような内容になっております。

金永委員

- ・生涯学習の集いとか作品展示が絡んでれば大事な会議ですね。わかりました。それから「楽しい子育て」はよかったですね、これ非常にいいなと思います。やっぱり保護者が学ぶ場というのが必要だなと思っていたから、また復活ということになるわけですね。

恵利教育長

- ・それでは次に入ってよろしいでしょうか。令和6年度補正予算、令和7年度当初予算など、7年第3回町議会定例会始まりますが、関係について課長より報告をお願いいたします。

谷岡課長

- ・先ほども申し上げましたが、3月7日に議会定例会が開会いたしますが、その中で予算関係で、教育課関係で提案させていただくものを10ページから付けております。かいつまんで説明をいたします。まず10ページにつきましては、令和6年度一般会計補正予算の概要であります。3月最終に差し掛かっていますので、項目としては少ないんですが、歳入等につきましても、実績に伴う現予算との乖離がある部分で教職員住宅使用料、これは教員住宅の使用料がこれだけ入ってこないという見込みが立っておりますのでその分を減額するのと、逆に育英資金につきましては返還金が見込まれますので増額、それから歳出予算につきましては、義務教育学校の外構工事等の実績に伴う減額を行っております。歳出で教師用教科書・指導書購入費の前期課程と後期課程があります。メインとしては後期課程の方に今年になるんですが、その分の予算です。3月中に購入をいたしまして、4月から教科書が変わりますので、その準備として、毎回この時期に補正予算を組ませていただいています。一部前期課程の部分もございます。社会教育費につきましては、実績見込みからの不足分を今回最終的に補正をさせていただくということで、お願いするものであります。

引き続き11ページから13ページにかけて、令和7年度の一般会計の当初予算のうち、主な新規事業についてお示しをしております。歳入につきましては先ほどからございますように、令和7年度から部活動指導員を配置するということから、国庫補助を活用しまして、この事業に取り組むというものであります。その下、これにつきましても以前からお話をさせていただいておりますが、GIGAスクール関係の児童生徒学習者端末購入ということで、県補助金になりますが、積算はその下に書いてあります。その下は国スポのボルダリング関係であります。競技会場の実施設計業務を県補助を使って行いたい。10分の10の補助であります。それから、自立式のボルダリング2機購入、県補助を使いまして、可動式のボルダリングは現在もございますが、さらに2機購入いたしまして、ボルダリングに対する啓発を行っていきたいということで考えております。歳出につきましては、先ほど申し上げた部活動指導員の報酬4名分があります。それから3番目の補助金は、みどりの杜木城学園への転入に伴う住宅借上料補助金です。これにつきましては、みどりの杜木城学園を売りにして、移住定住を図っていく試みでありまして、令和7年度から行うものであります。その方たちに対して、町内の町営住宅もありますし民間住宅もあるかと思いますが、最大3ヶ月分の家賃補助をするものでありまして、今の予想では入学してくる子供がだんだん少なくなっていくような予想もたちますので、何らかの手だてをもう先に打っておく必要があるのかなというところでこういった新規事業を計画しておりますので、ご理解をいただきたいと思います。次に学校管理備品関係につきましては、次のページに跨るまでございますが、旧小学校中学校時代から引き続き使ってたものがもう故障していることがございまして、この分を購入させていただきたい。さらに12ページの教育振興

備品購入につきましても、音楽用でしたり、理科、美術、その他の備品購入を考えております。児童生徒学習者端末購入は先ほど歳入でございましたが、529 台、69 台予備機を含んでおりますが計上させていただいております。さらにその下給食センター関係は、学校給食用の食器が古くなっております。聞くとところによりますと 15 年使ってるようでありますので、今回買い替えをするものであります。ガス式の立体炊飯器につきましても、少し故障が目立ってきておりますので、今回、買い替えるものであります。学校教育関係は以上です。その次に、社会教育関係で一番最初の「木城っ子冒険プロジェクト事業補助金」内容につきましましては、埼玉県の毛呂山町との交流事業で、想定としては前期課程ですね、6 年生までの前期課程の子どもたちを 2 泊 3 日で毛呂山町に研修に行くというものであります。今想定しているのは、この毛呂山派遣事業と先ほど事業報告でありましたスキー事業を、隔年でやっていこうかなというふうに考えております。7 年度につきましましては毛呂山町派遣、8 年度につきましましては、スキー体験というような形で今後継続できたらなと思っております新規事業であります。それから社会教育関係の中ほど、文化財保護関係で、来年は米良の神楽まつりが木城町で開催されます。令和 6 年度は西都市、令和 5 年度は西米良村持ち回りで行われて、令和 7 年度については、木城町で行う予定になっておりますのでその分の予算を計上させていただいております。それから文化財の 3 番ですね、文化財の看板設置工事ということで、今後進めていく中で、まず城山公園へ案内看板、高城から根白坂を見たときに布陣図といいましょうか、いろんな陣があったと思うんですけども、実際ここで案内しながら実際目で見るとような展望台にあるような、そのような看板を 1 基、それから根白坂周辺に誘導看板、サインと言われますけれどもそれを 2 基設置したいということで計上させていただいております。一番下は国スポ関係であります。令和 9 年開催を控えておりますので、それに向けて着実に準備を進めていくという意味での予算を計上させていただきました。会計年度職員につきましても、1 名増員を行いたいと思います。それから、来年は滋賀県竜王町でスポーツクライミング、それから守山市でエアロビックが行われますのでそちらのリハ大会とか本大会、概要説明会等にも参加して、準備を進めて参りたいと思います。この中で南九州大学との連携をして、木城独自の国スポ弁当メニュー考案ということで、どこにでもあるようなスポーツ弁当ではなくて木城独自の例えば有機野菜を使ったりとか、木城産の豚肉を使ったりとかいろんなことが考えられますが、そういったものを、南九州大学と連携して行いたいということも考えております。それから、関連がありますが、体育施設につきましても、この体育館周辺で国スポも行われることから、来年度しておくべき最小限のところの修繕工事を計上させていただいております。来年度事業の主な新規事業については以上であります。

恵利教育長

- ・報告をさせていただきました。委員からのご質問ございましたら。

鳴海委員

- ・歳出補助金、学校教育関係のですね、みどりの杜木城学園への転入に伴う住宅借上料補助金については、みどりの杜木城学園に転入を目的として、この子供さんを持った人たちの家族に対して、木城の住宅に入れば補助しますよという理解でいいわけですね。

谷岡課長

- ・そのように考えています。

上西委員

- ・最大何家族ですか。

谷岡課長

- ・想定は10家族です。民間の借家が4万5000円というのが一番高いようでありますので、4万5000円の3ヶ月の10家族という計算をさせていただいて135万としています。町営住宅の長屋であるとかだと金額が下がってくると思うんですけど。

鳴海委員

- ・例えば、児童生徒がいる家族が木城町に仕事の関係で転入したという場合は該当しないわけですね。

谷岡課長

- ・そもそも転入奨励金っていうのは別の課が所管しています。今回は、木城学園に入る子供たちがいるところはさらに補助するというようなイメージを持っています。転入されておられる方の中には、子供さんがいない家族もあるわけで、今回は学校を目的としてこられる方、そうでなくても子供がいる方のすみ分けが難しいので、そこは対象にしたいと思っています。もちろん以前にお配りしたかと思うんですが、こんなチラシを見られたかと思います。学校の施設も充実している、ソフト面も充実していますというチラシをですね、今後またお示しをしてそれに反応してくださることを期待しています。

恵利教育長

- ・現に何人かは来年度転入しますっていう声も聞いております。大きくは望めないと思うんですけど、そういう積み重ねが毎年的人数の加算になっていく。PRはやっていきたいと思っています。また他の課の事業としてPRインフルエンサーを雇用するっていう話、契約するっていう話もありますので、そういうSNSを使ったPRだとか、そういう口コミも非常に大事なので、一番は、木城学園の教育が充実して成果が上がって落ち着いた子供たちが育っていくことが一番なんですけど、あと是非ともそれをPRしていくっていうことはやっていきたいと思っています。

金永委員

- ・別件で、最初のところで教職員住宅使用料、入ってこない見込みがあるので減額をしましたということだったんですが、入ってこないという何か理由があるんですか。

谷岡課長

- ・木城学園の校長先生が入られるであろうということで、歳入見込みをしていたんですけど、すぐ隣の近いところに住んでいらっしゃるの。

鳴海委員

- ・育英資金の返還金は順調に増えていますか。

谷岡課長

- ・すべてが順調というわけではないんですけども、滞ってるという方については、接触をして分納とか相談に乗っています。連絡がつかないという方はいません。

金永委員

- ・部活動の補助金が支給されますが、今の3つの部テニス、陸上、卓球に外部指導員が入られるってことですが、今後、これは増える可能性っていうのはまだあるわけですか。

本田専門監

- ・補助事業内では3つの部ですが、野球も配置予定です。サッカーについては見通しがないんですけども、ぜひこれは進めていきたいというふうに考えています。

金永委員

- ・サッカー部はあるんですかね。指導者は先生がされているんですか。ゆくゆくは最初の国の方針としては、その部活動、土日は地域移行ということで地域の方にゆだねる

ということだったらそっちの方に行けるんですかね。

本田専門監

- ・令和7年度からは、配置する4つの部活動については、土日の活動については指導員の方にお任せして、そういう方向で考えています。

金永委員

- ・まだ途中ですね。まだ増える可能性があるってことですね。

恵利教育長

- ・野球部も配置し、報酬として4人分付いているんです。でも国の補助は3人分しか貰えないんです。理由はどうぞ。

本田専門監

- ・この国の事業では会計年度職員としての雇用です。例えば町の役場の職員の方が入ってくださる場合は、会計年度職員ということになれないので、そこは補助対象外です。

金永委員

- ・職員がこれをする場合は、兼務になるわけですね。

鳴海委員

- ・職員の勤務もだんだん解釈が拡大されていないですかね。

谷岡課長

- ・今は我々でも兼業の届け出をして勤務ができるようになってるんです。ただ、国庫補助事業の対象としては認めませんよという国の方針なんです。

鳴海委員

- ・部活の外部者の部活指導については、なし崩し的に具体的な報告もなくして、もうここまで進んだのかというようなイメージがするんですけど。3年前から話が出てたから、それが具体的にどうするんだという説明もなく、何となくこう流れてこうなっていつてしまったような気がします。実際、現にそのような形で運営されてるわけだからいいとは思うんだけどね。

金永委員

- ・自治体によってもちよっとバラバラなところがありますね。

恵利教育長

- ・先行的にというよりは、周りを見ながら徐々に進めていこうという感じのスピード感。この会議は3月、今度会議がありますので、また委員会では資料等で説明させていただきますので、よろしいでしょうか。続きまして、第81回、先日開催しました、国スポ実行委員会「第1回専門委員会」について、黒木係長から説明いたします。

黒木係長

- ・先日、2月21日に実行委員会の第1回専門委員会ということで開催させていただきました。今年度については、木城町においてはこの国スポに向けて、準備委員会からまず実行委員会に変わったということがまず1つと、その実行委員会についてはもう第2回までを12月までに終わらせています。今回、第1回の専門委員会ということで、この委員会は、実行委員会から付託された内容について審議、調査するというのが目的になります。2ページ目をご覧くださいと、この実行委員会の推進体制ということで、一番上の総会ということで実行委員会の総会が最高の議決機関になります。その下にあるのが専門委員会になります。調査機関ということで、実行委員会から付託された内容についてこの中で審議していただいて、それをまた実行委員会の方に報告するというその実行委員会に報告した内容をまた総会で議論するという形になっていきます。今回その専門委員会という真ん中の調査機関の方の第1回の専門委員会を開催しています。第1回ということですので、まずは顔合わせと、この国民スポーツ大

会ってということが、こういった形なのかなっていうのをまだ知らない方もいらっしゃると思いますので、今年度は実行委員会の方で国スポ推進室の方と一緒に、視察等を重ねてましたので、その内容を含めまして報告させていただいたところです。この専門委員会については、それぞれ5部門に分かれるんですけども、11ページが一番わかりやすいかなと思うんですが、専門委員会は木城町の場合は5つの専門委員会に分けて活動していくことになります。総務企画専門委員会、総務的なところでボランティアの報酬であるとか大会の開催に関することや予算に関するのをここで審議していただきます。2つ目が競技運営式典等の専門委員会、これはもう競技会の内容ですね、運営に関することや設営に関する、記録速報に関する、開会式、閉会式に関することなどです。3つ目が広報・町民運動の専門委員会、これは町民への啓発活動とか報道機関とかと記録写真の保存とか、そういった内容を審議してもらいます。4つ目の交通整備・危機管理専門委員会は、選手役員の輸送に関する、交通整理誘導、駐車場の確保等に関するのを審議してございます。最後5つ目の医療衛生専門委員会については、医療救護、あと病院との連携、弁当の調達、食品衛生、環境美化と、そういった内容を審議してもらうような形で、木城町は5部門の専門委員会に分けて、動いていくような形になります。14ページ15ページ目に、専門委員会の役割ごとに分けた委員の体制について載せています。こちらは先ほど言った専門委員会の内容に伴ってですね、国スポ推進室の方で、ある程度抜粋された所属団体等の方を、その5部門に分けて委任させていただいております。今回この部門に分けた方々については、事前に半渡会長より決裁をいただいて、委嘱したところであります。今回は初めて、この5部門に分かれての分科会を開催して、それぞれの委員会の方から調査した内容や協議した内容を報告していただいたところです。大まかにはそういった流れになりました。以上です。

恵利教育長

- ・この専門委員会が立ち上がって、いよいよ動いていくと。来年度に向けて、動き出すのではないかと考えています。

金永委員

- ・この係は全部役場の職員の方がされるんですか。

黒木係長

- ・基本的にはこの国民スポーツ大会っていうのは、自治体での開催になりますので、役場職員が運営するという形になります。スポーツライミングは一応10月2日から4日までで土・日・月になるんですけども、月曜日の平日が入る場合には、役場の本庁の仕事をしながらも、国民スポーツ大会を開催しないといけないという形になるので、あそこの人数に関しては今後考えていかないといけないところかなと。

金永委員

- ・本当それこそ頑張ってください。

恵利教育長

- ・おいおいまた説明を行ってまいります。それでは次に、学校で学習活動を行うことができない児童生徒が自宅においてICT等活用した学習活動を行った場合の指導要領上の出席扱いについてということでペーパーがお配りされております。本田専門監お願いいたします。

本田専門監

- ・文科省の方から、令和元年にガイドラインが出ております。そこでの趣旨としましては、不登校であることで学習の遅れが学校復帰への、また中学卒業後の進路選択の妨げになっている場合があるといった児童生徒を支援するために出されたものでありま

す。現在、この中身としましては、こういった場合に出席扱いができるのかについて、何でもいいということでは進められませんので、ガイドラインに沿って、項目だてして要件を書いたものがこの資料になります。詳しくは裏面の方にフロー図をつけております。また具体的な事例等はないんですけども、ご要望があった際には、児童生徒保護者と学校がしっかり相談・面談等で聞き取りを行います。できることも限られてくると思いますので、何ができるのかできないのかと要望をお聞きして、中身の方を詳しく触れていきます。そして申請を上げてもらった後は連携協力しながら、学習活動を支援していくという流れになります。またそれですぐに出席扱いとするのではなくてその中身がしっかりとその要件に沿ったものであるかどうか確かめた上で、最終的に出席扱いの判断をしていく。そういった流れで、子供たちの家での学習を出席扱いで認めていくという方向で定めていきたいというふうに考えております。実施につきましては、次年度あたりから周知をして、可能になっていければというふうに考えております。またその中身が、ICT等様々変化が激しいので、1度はこんなふうに定めはしますが、いろんなご要望だとか変化に沿って変えていくことがあると思いますので、試みとしてまずこういった形で定めて、今後また進化させていくということで進めていきたいと考えております。こういった方向で進めることについてご承認いただけますでしょうか。

恵利教育長

・ICTを使って、学習をするということも学習だよと認めていくということです。

金永委員

・オンラインっていうのはまだできてないんですかね。

本田専門監

・支援センターの方では、クラスの授業等は見れるんですけども、まだ家庭で見れるようなことは出来ていない状況です。

金永委員

・このICTはソフトかなんかを使って子供が学習するということですかね。

本田専門監

・オンラインで授業が見られるようなものです。

恵利教育長

・とてもいい制度なんですよ。今先進的に。

金永委員

・流れを図示していただけてるのでわかりやすく非常にいいなと思ったところでした。

恵利教育長

・次回定例日程について改めて確認をよろしくお願いいたします。

谷岡課長

・先ほども申し上げましたが、まず臨時会の方をもう1週間もないんですけども3月4日火曜日の午後3時30分から、行いたいと思っております。また、定例会につきましても、3月27日木曜日の午前9時からご提案さしていただきたいと思いますが、いかがでしょうか。

・以上をもちまして、令和7年2月木城町教育委員会定例会を閉会させていただきます。

次回臨時会日程

3月4日(火) 午後3時30分からリバリス会議室

次回定例会日程

3月27日(木) 午前9時00分からリバリス会議室

この会議録は、事実と相違ないことを証するため、ここに署名する。

木城町教育委員会

会議録署名委員

教 育 長

恵利 修二

委 員

上西 幸子